

iPadありとなし

作文を書いてみました

氏間研究室でLD—SKAIPのテスト

作文の検査

広島大学の氏間先生の研究室でLD—SKAIPテストを受けました。

作文でした。

小さめの原稿用紙と紙を渡された瞬間頭が真っ白になりました。

頭がパニック状態で、30分かけても一枚しか書けませんでした。

思い出そうとすればするほど混乱します。

久しぶりに字を書いたので、カタカナも忘れていました。

iPadがないと何もできないと思いました。

原稿用紙のイメージ

原稿用紙は消しゴムで消したら破れそうになる。これが大っ嫌い。

原稿用紙は見たら絶望しかしない。

例えると

原稿用紙で作文を書くことは

油絵具を用意されて、僕の苦手な絵を描いてって感じ。

iPadは友達と会話するくらい簡単。

原稿用紙は面接並みに難しい。

無力だ。

書けなかった理由

書きたいアプリの名前を思い出すことができなかった。

僕はアイコンで識別しているので名前を思い出すことができなかった。

思い出そうとしたら混乱した。

原稿用紙と紙の相性が最悪だった

思い出す→

思い出した言葉を文字にする作業→

字がわからない→

思い出したことを忘れる。

の負の連鎖になったから。

僕は昨日の自分を思い出せない。

だいたい昨日のことを覚えていない。

とても疲れた時は、その日の事も覚えていない。

だから、思い出を書こうとすると難しい。

対策として

Facebookに記録を残すようにしている。

結果

作文を書くにはFacebookの記録とiPadが必要だと思いました。

音声入力で思ったことをメモして
それをみてレポート書く作業が必要です。

それか、simple mindを使うことが必要です。

一回でレポートは書けません。

実は何回も消したり直したりしています。

大体大作は1時間ぐらいかかっています。早くて20分。

使いやすい道具と、ネタと、方法と、発想が必要です。

今日は撃沈しました。

完敗です。

でも、30分の地獄の作文は氏間先生じゃなかったら
発狂してました。

いつ終わっていいかわからなかったので
降参はできませんでした。

できない様子のビデオを、いろんな先生に見て欲しいです。
僕みたいに頑張っても書けない人の役に立てばいいです。